

# 学びをわくわく させるのは デジタル教科書だ。

学習者用デジタル教科書の期待される効果は  
主体的対話的で深い学びの方法に適していることと  
支援が必要な児童生徒の学びにアクセスしやすいこと。

音声や動画が使える教科書に、  
児童生徒が対話しながら学ぶ。

書き込みや文章をカードにして、  
再構成できる教科書を使って、  
考えを作りながら学ぶ。

デジタルを使うマナビは、きっと想像以上に面白い。



光村図書は、これまでのデジタル教科書・教材開発の  
ノウハウを生かし、教科書紙面やその他のデジタル教材を  
表示・使用するための「まなビューア」を開発しました。



光村図書

光村図書出版株式会社

〒141-8675

東京都品川区上大崎2-19-9

[www.mitsumura-tosho.co.jp](http://www.mitsumura-tosho.co.jp)

[digital-info@mitsumura-tosho.co.jp](mailto:digital-info@mitsumura-tosho.co.jp)



新登場

# 「学習者用デジタル教科書」 「学習者用デジタル教科書 + 教材」3つのポイント

学習者用デジタル教科書の制度化

学校教育法などの法律改正により、学習者用デジタル教科書(有償)は紙の教科書と併用して授業で使えるようになりました。

## 01 - 新たな学びのツールとして



ピンチアウトで  
拡大!



拡大したり、書き込みをしたり、  
音声を聞いたり。  
自らの学びに沿って自由に活用が可能。

書き込みなどの学習  
履歴は保存されます。



教科書の可能性が  
広がるね!

## 02 - 自ら学べる学習コンテンツが充実



- ✓ 教科書と連携したワークシート
- ✓ 興味関心を高める動画や写真資料
- ✓ 臨場感あふれる朗読音声



自分のペースで  
何度でもできるのが  
いいね!

## 03 - 特別支援のサポートが充実



誰もが学びやすく  
なるんだね!

何ができる? サポートボタン

教科書紙面からの  
読み上げ

紙面のすべての文字を機械音声で読み上げる機能を搭載しています。



すべての漢字に  
ふりがなを表示

漢字が苦手な児童や新出漢字の読みに  
自信がない児童にとって、教材の内容を  
理解するうえで有効です。

1文字ずつ文字を  
強調できる

文字に色がつくことで「どこを読んでいる  
のか」「どこを読めばいいのか」がすぐ  
にわかります。

「サポート」ボタン

見ることや読むこと、聞くことで  
困ったときは、まずはこのボタンを  
クリック! 教科書へのアクセスを  
助ける機能が搭載されています。

コラム「学習者用デジタル教科書と特別支援教育」もあわせてご覧ください。▶▶ 13 ページ

column

子どもたちの「思考の手足」に!  
教科書は、「読む教科書」から「書く教科書・共有する教科書」へ



放送大学 教授  
中川 一史 先生

専門は教育工学、情報教育。主な研究テーマは、国語科における映像メディアの理解と表現、デジタル教科書の活用など。元、文部科学省 小学校国語教科書編集委員。

子どもたちにとって多くの場合、紙の教科書は「情報を受け取るもの」。一方のデジタル教科書は「本文にマーカーを引く、考えのメモを残す、見せ合う」といった、教科書とノートを組み合わせたような使い方が可能です。デジタル教科書の登場によって、教科書は、「読む教科書」から「書く教科書・共有する教科書」へ、その役割が拡張されると考えられます。今後は、子どもたちの「思考の手足」として、子どもたちが自由に使う「文具」になっていくことでしょう。



学習者用デジタル教科書の位置づけ